

令和4年2月

義務教育学校 生野未来学園の校舎増築工事計画について

教育委員会事務局
総務部施設整備課

現在の校舎増築工事は、義務教育学校開校に向けた教室整備を行うために、平成30年度に設計、令和2年度に工事着手し、令和4年度の完成を目指して整備を行っております。

その後、令和3年3月に国において小学校の学級編成基準の法改正が行われ、令和3年度の2年生から順次に35人編成に引き下げられることとなりました。

現在の校舎増築工事において、開校から当面は必要な教室の整備は行っているものの、令和3年度に35人学級の影響を考慮した将来の学級数の伸びを確認いたしましたところ、将来的な教室の不足が予測され、教室整備を行う必要が生じたことから、校舎の建設を計画しております。

具体的には、老朽化により解体した北西側の校舎跡地（下記「校舎配置図」の斜線部分）に3階建ての校舎を建設し、隣接する校舎と接続する内容を計画しており、令和4年度より設計着手し、令和7年度末の完成を目指しております。

今後、詳細につきましては、決まり次第、学校を通じて保護者、地域の方にお知らせいたします。

【校舎配置図】

